

Overview: レビ記全体は、建造である幕屋の中での神の語りかけの記録です。今日、神の語りかけは彼の幕屋の中にあり、この幕屋は召会です。神は彼の民を訓練して、ささげ物と祭司の体系を通して彼を礼拝させ、彼にあずからせました。聖なる御言の中の記録によれば、宇宙の実際は、幕屋またささげ物としてのキリストです。神は彼の民を訓練して、聖なる、清い、喜ぶ生活をさせました。レビ記は私たちに、私たちの神がどのような神であるかを見せています。私たちの神は、私たちが「ハレルヤの人々」となり、主の中でいつも喜んでることを願っています。

Ⅱ. 神は彼の民を訓練して、ささげ物と祭司の体系を通して彼を礼拝させ、彼にあずからせました:A. キリストはささげ物の実際です:』

1. 完全に神の満足のためであった全焼のささげ物が予表するのは、キリストが神の喜びまた満足であり、彼の地上での生活が神のために絶対的であったということです。
2. 穀物のささげ物が予表するのは、完全な人性におけるキリストが神のための食物であり、また神と交わり、神に仕える人のための食物であるということです。
3. 平安のささげ物が予表するのは、キリストが平和をつくる方であるということです。彼は私たちのために死ぬことによって、私たちと神との間の平和と交わりとなりました。そして彼は、私たちが神と共にキリストを享受し、キリストの中で神と交わりを持ち、私たちと神が相互に満足することができるようにします。
4. 罪のためのささげ物が予表するのは、キリストが私たちのために罪(単数)とされ、十字架上で死んで、私たちの墮落した存在の罪深い性質を対処する方であるということです。
5. 違犯のためのささげ物が予表するのは、キリストが私たちの罪(複数)を、ご自身の体において担い、十字架上で神によって裁かれて、私たちの罪深い行為を対処し、私たちの罪深い行為が赦されるようにした方であるということです。
6. 揺り動かすささげ物が予表するのは、愛の中にある、復活したキリストです。
7. 挙げるささげ物が予表するのは、昇天して高く上げられた力強いキリストです。
8. 注ぎのささげ物が予表するのは、キリストが神の御前にぶどう酒として注ぎ出されて、神の満足となった方であり、また天のぶどう酒としてのご自身をもって私たちに浸透し、注ぎ出されて、神の享受と満足となる方であるということです。』

B. 私たちは、ささげ物の実際としてのキリストを経験する必要があります:

1. ささげ物は、私たちの問題を解決し、私たちと神との間の隔てを除き去ります。
2. ささげ物は、私たちが神を享受し、神とミングリングされ、神が私たちの存在の中へと吸収されて、私たちの構成要素となることができるようにします。
3. ささげ物は、私たちが神の中へと入り、神性と人性の合併の一部分となる道です。
4. ささげ物は、私たちの問題を解決する犠牲であるだけでなく、神の享受となる神への贈り物でもあります。

C. 神の民は訓練されて、祭司を通して神を礼拝し、神にあずかりました。祭司は、私たちのためにご自身を神にささげた神の祭司としてのキリストを予表します。

D. 聖なる御言の中の記録によれば、宇宙の実際は、幕屋またささげ物としてのキリストです:

1. 神・人として、キリストは幕屋であって、神と人のための住まいです。また彼はささげ物であって、それは人が神の中へと入るためです。
2. キリストは、幕屋またささげ物の実際であり、宇宙の実際また内容です。
3. ささげ物としてのキリストを通して、私たちは神の中に住むことができ、神も私たちの中に住むことができます。これは宇宙の実際、また聖書の内容です。
4. 幕屋としてのキリストは、神を人にもたらしめます。ささげ物としてのキリストは、人を神にもたらしめて、人が神と結合され、ミングリングされ、合併されるようにします。』

I. レビ記において神は、幕屋、集会の天幕の中におり、集会の天幕の中で語りました:

A. レビ記全体は、建造である幕屋の中での神の語りかけの記録です。

B. 今日、神の語りかけは彼の幕屋の中にあり、この幕屋は召会です:

1. 予表の原則によれば、神は彼の幕屋としての召会の中で語ります。この集会の天幕は神の託宣、神の語りかけの場所です。
2. 幕屋の尊さは神の語りかけでした。今日、召会の尊さは語る神、また神の語りかけです。

Ⅲ. 神は彼の民を訓練して、聖なる、清い、喜ぶ生活をさせました:

A. 神は彼の民に命じて、彼の聖なる性質にしたがって聖なる生活をさせました:

1. 神が聖であるので、聖でなければならぬということは、神の聖にしたがって歩き、聖なる生活することを表徴します。
2. レビ記が啓示しているのは、聖なる生活をするために、私たちが古い生活を脱ぎ捨て、新しい生活を着なければならぬということです。神はイスラエルの民に、以前のエジプト人の行為を脱ぎ捨て、カナン人のおきての中を歩まないようにと命じました。
3. 神と神の民の間の相互の享受は、神の民を神以外のあらゆるものからご自身へと分離し、彼らを聖なる国民とします。
4. 世の基が置かれる前から、神は私たちが聖くなるようにと選びました。a. 「聖い」とは、聖別され、神へと分離されているだけでなく、また俗的であるあらゆるものと異なり、それから区別されていることを意味します。b. 神だけがすべてのものと異なり、区別されています。ですから、神は聖です。聖は彼の性質です。c. 神が私たちが聖とするのは、ご自身、すなわち聖なる方を私たちの存在の中へと分け与えることによります。それによって私たちの全存在は、彼の聖なる性質で飽和され、浸透されます。
- d. 私たちが聖となることは、神の性質にあずかり、私たちの全存在が神ご自身で飽和されることです。』

B. レビ記第 12 章から第 15 章で、神は彼の民を訓練して清い生活をさせました:

1. 第 12 章は、出産による人の汚れを清めることを見せています。第 13 章と第 14 章は、らい病から清められることについて語っています。
2. 第 15 章は、私たちが人の存在からの汚れた漏出すべてから清められる必要があることを啓示しています。私たちの存在から漏出されるものは何であれ、私たちの言葉を含めて、汚れています。
3. 私たちは、キリストの十字架が私たちの古い命を終わらせることを必要とし、またキリストの復活が私たちに新しい開始を与えることを必要とします。
4. 私たちはまた命の水、すなわち、言葉の中に具体化された、洗い、清める命の霊を必要とします。

C. 神はイスラエルの民を訓練して、喜ぶ生活、幸いな生活をさせました:

1. 週ごとの安息日は、年ごとの祭りすべての主要な意義でした。これらの祭りは安息日であり、それは神の贖われた民が神と共に安息し、また互いに安息するためでした。
2. 月ごとの新月の祭りが表徴するのは、私たちがキリストの中で新しい開始を経験することができ、キリストが私たちの喜びまた享受であり、暗やみの中の光であるということです。
3. 過越の祭りが予表するのは、私たちの過越としてのキリストが、私たちの初期の基本的な救いのため、すなわち喜びの時のためであるということです。
4. パン種のないパンの祭りが予表するのは、私たちのクリスチャン生活のすべての期間に、罪がないということです。
5. 初穂の祭りが予表するのは、復活したキリストが彼の復活の中で、私たちの享受のための宴席であるということです。
6. ペンテコステの祭りが予表するのは、その霊の注ぎ出しが、召会を形成するためであるということです。
7. ラツパを吹き鳴らす祭りが予表するのは、神が彼の散らされた民を召集するということです。』
8. 罪を覆う祭りが予表するのは、イスラエルの全家が神によって将来、共に集められた後の享受です。
9. 仮庵の祭りが予表するのは、千年期に成就される復興の時代の享受です。
10. 安息の年が予表するのは、私たちの満ち満ちた安息としてのキリストです。
11. ヨベル、ペンテコステ年が予表するのは、私たちが失ってしまった権利と、売ってしまった自分自身を、キリストが贖い戻すことによる、私たちの完全な解放、安息、喜びとしてのキリストです。

D. レビ記は私たちに、私たちの神がどのような神であるかを見せています。私たちの神は、私たちが「ハレルヤの人々」となり、主の中でいつも喜んでることを願っています。』

第一日: レビ1:1 さて、エホバは集会の天幕の中からモーセを呼んで、彼に語って…

27:34 これらは、エホバがシナイ山でイスラエルの子たちのために、モーセに命じられた命令である。

ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

第二日: ヘブル10:9 また彼は、「見よ、あなたのみこころを行なうために、私は来ました」と言われました。彼は第二のものを打ち立てるために、第一のものを取り去られます。

12 しかし、この方は、罪のために一つのいけにえをささげて、永久に神の右に座り。

レビ1:3 その人のささげ物が、牛の群れからの全焼のささげ物であるなら、彼は傷のない雄を献げなければならない。それを集会の天幕の入り口で献げて、彼がエホバの御前に受け入れられるようにしなければならない。

第三日: ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。29 その翌日、ヨハネはイエスが自分の所に来られるのを見て言った、「見よ、世の人の罪を取り除く神の小羊！

14:20 その日には、私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。

ヨハネ1:29 その翌日、ヨハネはイエスが自分の所に来られるのを見て言った、「見よ、世の人の罪を取り除く神の小羊！

第四日: レビ11:44 私はエホバ・あなたがたの神だからである。それゆえに自分を聖別し、聖となりなさい。私は聖だからである。また地上で動くいかなる群がるものによっても、自分を汚してはならない。20:7 それゆえに、自分自身を聖別し、聖となりなさい。私はエホバ・あなたがたの神だからである。

エペソ1:4 すなわち、この方は、愛の中で、御前に聖く傷のない者になるようにと、世の基が置かれる前から、キリストの中で私たちを選び。

第五日: Ⅱコリント5:17 …だれでもキリストの中にあるなら、その人は新創造です。古いものは過ぎ去りました。…それらは新しくなりました。

Ⅰコリント5:7 あなたがたは新しい練り粉のかたまりとなるために、古いパン種を一扫しなさい。あなたがたは確かに、パン種のない者です。というのは、私たちの過越であるキリストが、犠牲としてささげられたからです。

ガラテヤ2:20 わたしはキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはやわたしではありません。キリストがわたしの中に生きておられるのです。そしてわたしは今、肉体の中で生きているその命を、わたしを愛し、わたしのためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

Ⅰコリント15:3 わたしが受けて、あなたがたにも伝えたことは、まず第一に、キリストが聖書にしたがって、わたしたちの罪のために死なれたこと、

第六日: 啓20:6 第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である。これらの人たちに対して、第二の死は何の権威もない。彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する。

ピリピ4:4 主の中でいつも喜びなさい。私は繰り返して言います。喜びなさい。

啓20:4 わたしはまた、いくつかの座を見た。そして人々がそれらに座しており、裁く権威が彼らに与えられた。そしてイエスの証しのゆえに、また神の言のゆえに首をはねられた人たちの魂と、獣もその像も拝まず、その額と手に印を受けなかった人たちの魂を見た。彼らは生きて、千年の間キリストと共に王として支配した。6 第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である。これらの人たちに対して、第二の死は何の権威もない。彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する。

経験①: 在職生活でキリストをささげ物の実際として経験する

墮落のゆえに、神と人の間には隔てがあります。私たちはその隔てを除き去り、私たちを祭壇から幕屋へともたらしいくつかのささげ物を必要とします。主要なささげ物は、全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物でした。…これらのささげ物はすべて橋であって、私たちを向こう側へ、すなわち、幕屋へともたらしめます。

ささげ物は神への贈り物です。毎回私たちは集会に来るとき、来て高価な尊い贈り物を神に献げ、神と共に享受するという甘さを感じるべきです。私たちがキリストを神にささげるのは、単に私たちの問題に対する犠牲としてだけでなく、神が享受するため、また私たちが神と共に享受するための神への贈り物としてでもあるべきです。

完全に神の満足のためであった全焼のささげ物が予表するのは、神の喜びまた満足としてのキリストです。主イエスは地上にいたとき、神を幸いにし、満足させました。なぜなら、彼は常に神のみこころを行ない、神の栄光を求めておられたからです。

平安のささげ物が予表するのは、キリストが平和をつくる方であるということです。キリストから離れて、私たちは神と、あるいは他の人と平和を持つことはできません。キリストがなければ宇宙に平和があり得ないので、私たちは、彼が私たちの平安のささげ物であることを必要とします。キリストは「彼の十字架の血を通して、平和をつくられました。今や平安のささげ物の予表の成就として、キリストは私たちと神との、また他の人との平和です。彼を通して、彼の中で、私たちは神と、また人と平和を持ちます。

キリストはまた違犯のためのささげ物によって予表されています。私たちは罪深く、多くの罪や違犯を持っています。神は違犯のためのささげ物としてのキリストを通してのみ、私たちの罪を赦すことができます。十字架上で、キリストは神の御前に私たちのすべての違犯を担ってくださいました。彼は「私たちの罪を、ご自身の体において、木の上で担われました」。…違犯のためのささげ物として、彼は私たちの罪を担われました。

在職青年編

あなたが幕屋の中に入るために、キリストをささげ物として経験し、所有し、ささげる必要があります。ささげ物であるキリストだけが、あなたを神の住まいである幕屋にもたらしすることができます。あなたは毎日キリストを経験し、集会、特に主日集会に来て、キリストを神にささげるべきです。このような観点を持つと、月曜日から金曜日のあなたの在職生活は、実はキリストをささげ物の実際として経験するためにあることがわかります。

神の祝福によってあなたに与えられた仕事を自分のためではなく、神のためのものとし神にささげるべきです。自分の仕事を自分自身の栄光のため、あるいは、自分の享受のためというポジションにおいてははいけません。キリストは絶対的に神のために生きられました。あなたはキリストを神のために絶対的に生きる命として経験し、所有し、自分自身と仕事を神にささげる必要があります。あなたはこのようにキリストを全焼のささげ物として毎日経験すべきです。

また、あなたは職場でできる限り様々な人と平和であるべきです。しかし、平安のささげ物であるキリストの外で、誰も真の平和を持つことはできません。キリストの中でのみ、あなたは神と人々との間の平和を持つことができます。例えば、ある人はあなたに良い印象を持っていないので、あなたと話しをしたがらなかったり、あるいは、話すときに、怒りを伴って話します。このような時、あなたは主にきて自分の欠点や弱さを告白し、自分の良心が清められるべきです。そして、キリストの中に入り、キリストをピース・メーカーとして経験してください。キリストを経験することで、あなたの内側がキリストで満たされ、キリストによって調整され、このような人とどのように会話したら良いのかが、分かるようになります。アーメン！

経験②: 神は神の民を訓練して、聖なる、清い、喜ぶ生活をさせる

聖なる生活をするために、レビ記が見せているのは、私たちが古い生活を脱ぎ捨て、新しい生活を着る必要があるということです。イスラエルの民は、以前のエジプト人の行為を脱ぎ捨てるように命じられました。

聖となることは、神以外のあらゆるものから分離されることです。それはまた、神ではないすべてのものと異なり、区別されることを意味します。ですから、私たちは世俗的であるべきではなく、異なっているべきです。宇宙では神だけが聖いのです。彼は他のあらゆるものと異なり、区別されています。ですから、聖くなるとは、神と一になることを意味します。罪がなく完全であるとは、聖であることと同じではありません。聖くなるために、私たちは神と一になる必要があります。なぜなら、神だけが聖であるからです。

レビ記第13章と第14章は、らい病から清められることについて語っています。淫行、不品行、偶像礼拝、盗みなどの罪は、人のらい病の状態に含まれます。らい病は常に反逆から来ており、故意の罪、出しゃばりの罪、決意して神に逆らう罪のような、人の内側から出て来る重大な罪を表徴します。

レビ記第15章は、私たちが人の存在からの汚れた漏出すべてから清められる必要があることを見せています。私たちから漏出されるものは何であれ、私たちの言葉を含めて、汚れています。こういうわけで私たちは、キリストの十字架が私たちの古い命を終わらせることを必要とし、またキリストの復活が私たちに新しい開始を持たせることを必要とします。私たちはまた命の水、すなわち、言葉の中に具体化された、洗い、清める命の霊を必要とします。私たちは霊の中で言葉に来るときはいつでも、私たちを洗う言葉の内側の何かに触れます。

私たちの生活、クリスチャン生活、召会生活は、神の大いなる喜びにしたがっています。クリスチャン生活は幸いな生活です。新約聖書は何度も私たちに、幸いであるようにと勧めています。「主の中でいつも喜びなさい。私は繰り返して言います。喜びなさい」(ピリピ 4:4)。私たちは日ごとに、自分自身の中ではなく主の中で喜んでいるべきです。

中高生編

神は召会の集会の中で、あなたに語りかけ、あなたを訓練して、キリストを経験することによって、聖なる、清い、喜ぶ生活を送らせます。あなたは神の民であり、世の人とは異なります。神の民は、神の訓練の下にあります。学校生活であなたは先生の訓練の下にあるだけでなく、神の訓練の下にいることを認識してください。この訓練の目的は、あなたが学校生活の中でキリストを経験して、聖なる、清い、喜ぶ生活を送るためです。

聖であるとは、神以外のあらゆるものから分離され、聖別されることです。宇宙の中で神だけが聖いのです。あなたはキリストをエンjoyして、神の聖なる性質を経験すべきです。あなたは友人たちとうまくやっていく必要がありますが、彼らとは異なり区別があるべきです。なぜなら、あなたは神の聖なる選民であるからです。

また、あなたは清められた人であるべきです。神の御言葉の中には、命の水の洗いがあります。霊を活用して御言葉を祈り読みすればするほど、あなたは清められます。あなたは毎日シャワーを浴びなければ、あなたの体は清められず、悪臭を放ちます。同様に、あなたの心も命の水で毎日洗われ、清められなければなりません。

さらに、あなたは喜びのある生活を送るべきです。あなたは神の大いなる喜びにしたがって召会生活を実行しています。ですから、あなたは主の中で毎日喜びに満ちた生活を送ることができます。ハレルヤ！主を賛美します！

ピリピ 3:1 最後に、私の兄弟たちよ、主の中で喜びなさい。

165 主を賛美する—彼のすべてを含むこと

- 1 主はささげもの、かみは用意す；
その意義は甘美、ゆたか、えい光！
ちちのみこころ、満たし、成就し、
われのひつようも、すべて満たす！
- 2 なれははんさい、火にて焼かれ、
香ばしいかおり、かみ、満ぞくす。
主、御まえに生き、御むねもとむ、
きずなきいけにえ、わがしよもつ。
- 3 主はあぶら、乳香、混ぜた素さい、
きよく、こまやか、あまく、かん全。
なれは平安さい、平あん成就し、
かみとひと、ともに なれを享受す。
- 4 なれはざいさい、つみとなりて、
死、通してわれを あがなわれる。
なれはけんさい、とがをにない、
かみの義を満たし、ゆるし得さす。
- 5 なれはようさい、復かつにより、
ハデス、死、やみに、しょう利を得る。
なれ、また拳さい、しょうてんして、
てんのパンとなり、われを満たす。

大本, #165 賛美主—祂的万有包罗性

—

你是一切の祭物、为我神所预备；哦、其意义何丰富、何其荣耀、甘美！成全父神的旨意、满足祂心所愿；应付我们的需要、所缺全都补满！

—

你是馨香的燔祭、焚于神圣火焰；作神甜美的香气、满足神的心愿。你曾行在神面前、神旨是你所顾；献上无瑕的自己、为我作神食物。

—

你是甜美的素祭、调油加上乳香；纯净、柔细又完全、甘美供神欣赏。你是完全平安祭、和平为我成就；且作食物何丰富、供我同神享受。

—四—

你是我的赎罪祭、为我你曾成罪；藉死成功了救赎、为要将我赎回。你也是我赎愆祭、担当我众罪愆、满足我神的公义、使我得蒙赦免。

—五—

你也是我的摇祭、已经从死复活、阴府、死亡并黑暗、全都为我胜过。你更是我的举祭、为我升到神前、作我天界的食物、使我得到饱满。

Hymns, #195 Praise of the Lord – His Worthiness

1 Lord, Thou art all the offerings

Prepared by God for us;
They are so rich in meaning,
So sweet and glorious.
They have fulfilled God's purpose
And met His heart's desire;
They too have satisfied us,
And faced what we require.

2 Thou art the burnt-oblation,

Consumed by holy fire;
To God as a sweet savor,
Fulfilling His desire.
Thou walkedst in God's presence,
And all His will pursued;
Thyself the spotless offering,
For us to God as food.

3 Thou art the meal-oblation,

With "oil" and "frankincense";
'Tis holy, fine, and perfect,
And sweet to every sense.
Thou art the peace-oblation,
The peace for us to make,
That we with God may share Thee,
As food of Thee partake.

4 Thou art the sin-oblation,

For us Thou sin wast made;
By death for our redemption
The ransom Thou hast paid.
Thou art the trespass-offering,
Thou all our sins didst bear
To satisfy God's justice,
That we His pardon share.

5 Thou art the wave-oblation,

The resurrected One;
O'er hades, death and darkness,
The vict'ry Thou hast won.
Thou art the heave-oblation,
Thou didst ascend to God;
As such in heav'nly places
Thou art our holy food.